

宗像市長 あて

(申請者)

団体名 むなかた大島浜辺らぼ

代表者氏名

住所

電話番号

令和8年度宗像市元気な島づくり事業補助金交付申請書

令和8年度宗像市元気な島づくり事業補助金において、宗像市元気な島づくり事業を実施したいので、宗像市補助金等交付規則（平成15年宗像市規則第31号）及び宗像市元気な島づくり事業補助金交付要綱（平成17年宗像市告示第34号）に基づき、下記のとおり申請します。

記

1. 目的及び内容

継続事業 4 年目	
事業名 (20字以内で 記入してください)	むなかた大島浜辺らぼスタートアップ事業
事業の目的 (300字以内で 記入してください)	世界一豊富な日本の海藻たち。約1,500種が生息しています。海藻が織りなす『海の森』は地球にとっても大切な場所です。残念ながらこのことはあまり広く認識されていません。現に宗像市大島では、浜辺に打ちあがる漂着海藻は今まで海浜清掃のゴミ扱いされていました。この事業では浜辺に打ちあがる海藻などを材料とした創作活動を行い、各方面へ向け作品を発信していきます。カラフルで美しい姿の海藻たちの姿を目にすることにより、宗像市大島『海の森』の注目度が上がるようになるでしょう。そして、島内はもちろんのこと、幅広い方々の『むなかた大島の海を想う心』を育てていきます。
事業の内容 (300字以内で 記入してください)	本年度も引き続き、外部講師による指導のもと、漂着海藻や貝殻等々を拾い集め、地域素材を活かした創作の材料として仕上げ、適切に保存することを学びます。それら海藻を素材とした創作品の新規試作開発に取り組み、今後の創作活動の幅を広げる準備を中心に行っていきます。また、引き続き大島学園と連携してコミュニティスクールとしての役割も担ってまいります。さらに、大島在住の高齢者向けや子供向けのワークショップを開催する段取りや広報活動をさらに深め、新たなワークショップ開催にも挑戦していきます

2. 補助金の額及び算出の基礎

申請額	500,000	円
算出の基礎	別紙予算書の（様式2号）のとおり	





## 予算書支出経費予算額内容及び積算根拠

◇報償費◇ 総合計 648,080 円

＝内訳＝

- ◆報償費 162,020 円 × 4回 = 648,080 円
- 講師料 + 交通費 = 162,020 円として謝金に含める
- ※宗像市講師謝金の支出に関する基準備考4参照

＝参考実費内訳＝

◆講師料

- ・宗像市基準 2時間 15,000 円 (1時間 7,500 円)
- (例) 10:00 ~ 16:00 6時間 × 2日 = 90,000 円
- (例) 11:30 ~ 16:00 4.5時間 × 3日 = 101,250 円

◆交通費

- ① 36,010 円 (片道) × 2 = 72,020 円
  - ・東京都墨田区両国自宅 (徒歩)
  - ・JR両国駅 ~ JR東京駅 (タクシー) 3,300 円
  - ・JR東京駅 ~ JR博多駅 (新幹線) 31,070 円
  - ・JR博多駅 ~ JR東郷駅 (鹿児島本線) 660 円
  - ・東郷駅 ~ 神湊波止場 (西鉄バス) 410 円
  - ・神湊 ~ 大島港 (船) 570 円
- ② 45,240 円 (片道) × 2 = 90,480 円
  - ・東京都墨田区両国自宅 (タクシー) 1,900 円
  - ・東京シティエアターミナル (リムジンバス) 1,200 円
  - ・羽田空港 ~ 福岡空港 (飛行機) 40,240 円
  - ・福岡空港 ~ 博多駅 (地下鉄空港線) 260 円
  - ・JR博多駅 ~ JR東郷駅 (鹿児島本線) 660 円
  - ・東郷駅 ~ 神湊波止場 (西鉄バス) 410 円
  - ・神湊 ~ 大島港 (船) 570 円

※宿泊費は含みません。

◇旅費◇ 総合計 119,480 円

＝内訳＝

- ◆旅費 59,740 円 × 2名 = 119,480 円
- 10.予算書作成に当たって※3…視察にかかる旅費参照

＝内訳詳細＝

- ①37,540 円 + ②22,200 円 = 59,740 円
- ◆公共交通機関交通費 37,420 円 ①
  - ・神湊波止場 ~ 東郷駅 (西鉄バス) 410 円 × 2 = 820 円
  - ・JR東郷駅 ~ JR博多駅 (鹿児島本線) 660 円 × 2 = 1,320 円
  - ・JR博多駅 ~ JR京都駅 (新幹線) 16,780 円 × 2 = 33,560 円
  - ・京都市内 (市バス) 230 円 × 8 = 1,840 円
- ◆宿泊費 22,200 円 × 1泊 = 22,200 円 ②
  - ・宿泊費 (素泊まり) 知恩院宿坊 22,000 円
  - ・京都市宿泊税 200 円

◇需要費◇ 総合計 197,208 円

＝内訳＝

◆ワークショップ備品・消耗品 合計 167,208 円

＝内訳詳細＝

額 アートBOX A4 2,464 円 × 6 = 14,784 円  
額 アートBOX A3 3,388 円 × 6 = 20,328 円  
額 アートBOX 30角 2,695 円 × 6 = 16,170 円  
ひな壇ディスプレイ7段 3,980 円 × 2 = 7,960 円  
卓上パネルスタンド 3,980 円 × 2 = 7,960 円  
ディスプレイB4 溝タイプ 3,480 円 × 2 = 6,960 円  
ディスプレイB4 棚タイプ 2,980 円 × 2 = 5,960 円  
HAIKEI Bタイプ 2,980 円 × 2 = 5,960 円  
デザインボードフック 小 528 円 × 6 = 3,168 円  
テーブルクロス用布 2675 円 × 6 = 16,050 円  
ミシン糸 308 円 × 1 = 308 円  
エプロン(名入れ) 6,600 円 × 6 = 39,600 円  
のぼり 5,500 円 × 4 = 22,000

◆ワークショップ受講料 7,500 円 × 4名 = 30,000 円 合計 30,000 円

◇役務費◇ 総合計 7,720 円

＝内訳詳細＝

レターパックライト 430 円 × 4 = 1,720 円  
送料 3,000 円 × 2 = 6,000 円

◇原材料◇ 総合計 54,835 円

◆ワークショップ資材費

＝内訳詳細＝

台紙 A3 660 円 × 5 = 3,300 円  
台紙 A4 330 円 × 5 = 1,650 円  
台紙 はがき 440 円 × 5 = 2,200 円  
台紙 しおり 330 円 × 5 = 1,650 円  
カットペーパーA4 シルバー 990 円 × 3 = 2,970 円  
カットペーパーA4 ブルーダイヤモンド 880 円 × 3 = 2,640 円  
ハーバリウム液 10リットル 15,675 円 × 1 = 15,675 円  
ハーバリウム瓶 275 円 × 50 = 13,750 円  
フレーム 220 円 × 50 = 11,000 円

様式 2

令和 8 年度 宗像市元気な島づくり事業補助金収支予算書

【収入】

経費の内訳	予算額	摘要 (内容・積算根拠)
市補助金	(A) 500,000 円	元気な島づくり事業補助金
参加費	200,000 円	ワークショップ参加費・作品売り上げ
自己資金	327,323 円	準備金313,323・入会金5,000円・年会費9,000円
	円	
合計	(B) 1,027,323 円	

【支出】

経費の内訳	予算額	左記のうち 補助対象経費	摘要 (内容・積算根拠)
報償費	648,080 円	648,080 円	外部講師費への謝金 (講師料・交通費含む162,020円4回分)
旅費	119,480 円	119,480 円	視察にかかる交通費・宿泊費 2 名分 (大島～京都)
需用費	197,208 円	197,208 円	ワークショップ備品・消耗品・視察にかかるワークショップ受講料
役務費	7,720 円	7,720 円	郵送費
委託料	0 円	0 円	
使用料及び賃借料	0 円	0 円	
原材料費	54,835 円	54,835 円	台紙・カットペーパー・ハーバリウム用品・フレーム
小計	1,027,323 円	(C) 1,027,323 円	

宗像市渡船に係る旅費	0 円	(D) 0 円	
宗像市渡船に係る役務費	0 円	0 円	

元気な島づくり事業補助金(A)	【(C)×補助率 0.5 + (D)+(E)】 計算後、千円未満は切り捨て (最高50万円)
	500,000 円

※経費の内訳は、(1)報償費 (講師料) (2)旅費 (3)需用費 (消耗品費、印刷製本費、光熱水費) (4)役務費 (通信運搬費、手数料、保険料) (5)委託料 (6)使用料及び賃借料 (7)原材料費  
 ※補助率は、1 年目～3 年目… 4 分の 3、4 年目・5 年目… 2 分の 1  
 ※「宗像市渡船に係る旅費及び役務費」は交付期間中、全額補助します。限度額は、全額補助経費と一部補助経費の合計で 50 万円です。

## 令和7年度年度宗像市元気な島づくり事業実績の概要について

<注意> この様式は、令和7年度に補助金を受けた団体のみ提出が必要です。

団体名	むなかた大島浜辺らぼ
事業名	むなかた大島浜辺らぼスタートアップ事業
実施した事業の内容	<p>* 実施した経過を含めて記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講師指導のもと、漂着海藻や貝殻等々の地域素材を拾い集め、素材を活かした創作材料として仕上げ、適切に保存することをさらに深く学びました。</li> <li>・創作活動に繋がる準備をはじめ、自分たちが作ることの楽しさを体験し、大島学園向けや島外のワークショップを開催する段取りや広報活動の基本を実践、応用することができました。</li> <li>・視察見学では、海藻デザインのワークショップを体験し、違う角度から海藻の活用方法やワークショップの進行など多くのことを学ぶことができました。また、昨年とは異なった売り手側として手づくり市に参加し、実際に目の前で自分たちの作品を手に取り選び購入し頂く機会に恵まれ、嬉しさはもちろんのこと、作品作りを一層精進しなくてはと強く感じました。</li> <li>・大島学園と連携し、コミュニティスクールの一環として共に活動することで多くの方に活動内容を理解していただくことになりました。子供たちと共に学び成長できている実感があります。</li> </ul>
事業の成果	<p>* 課題等を含めて記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度実施した事業同様、大島の海の豊かさを実感し、環境の変化が急速に影響していることを知ることで、海を想う心が一層強まってきました。</li> <li>・ワークショップを楽しんで企画開催する自分たちの姿が、島在住の方々はもちろんのこと高齢者や大島学園の皆様へ受け入れられ、大島の海や海藻へ関心がより深まっていくことを実感できました。</li> <li>・視察見学で得たものは大島においての活動の新展開を具体的にしていける発想を持つことに繋がりました。</li> <li>・昨年度実施した事業により、島の素材をいかした創作品の大きな独創性と可能性を改めて確信しました。</li> <li>・島外の企画（SDGsのイベント・宗像大社・海藻遊び展等々）に積極的に参加することは新たな自信となりました。</li> </ul>
令和7年度の事業実施を踏まえ、特に令和8年度に取り組むこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年度は引き続き講師と共に海藻を集めること、そして保存することの大切さを学びました。令和8年度は大島の海の現状を踏まえて、時期を見定めながら海藻を拾い集め、保存する海藻の種類を増やしていきたいです。</li> <li>・令和7年度は主に紙の上に広げる創作品を学びました。海藻に合わせて様々な大きさの作品を創作することで創作活動にも自信が湧いてきました。令和8年度ではより大きな作品や乾燥させた海藻たちの新たな創作品を試作検討していきます。</li> <li>・ワークショップにおいては、令和7年度同様小規模の企画を開催する回数を重ねることで、段取りや広報、参加者集めのスキルをさらにレベルアップしていき、今後は大人数でも対応できる力を身に着けます。</li> <li>・視察においては、令和7年度は実際に売り手側に立ち、どのようなものが訪れる方々に喜ばれるのか等々を市場調査することは、創作活動に反映できました。令和8年度ではその経験を活かした作品を各種取り揃え、再度売り手側に立ち実際に販売していきます。</li> </ul>

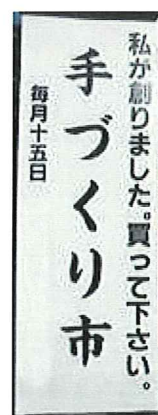
## 京都における手づくり市について

### 【参考資料 ①】

1987年4月15日「素人さんが創った手づくりの作品を発表する場、青空個展会場を」と、京都市在住の臼井さんと榎本さんが企画し、京都市左京区の百万遍知恩寺境内で『「手づくり市」私が創りました。買ってください。』を始める。

当初の参加出展数は6,7軒。雨の日には数軒という始まり。毎月かかさず、現在まで「手づくり市」を続け、およそ5年後、常に50軒の参加者を越すようになる。2003年9月から、申込み者多数のため現在の往復はがきによる事前申込み、抽選に変わる。

初めての開催から変わらず、参加者がいつも新鮮な気持ちで臨めるように、お店の場所は固定にしない。出展に関して抽選にしてはいるが、なるべく多くの参加者に出展してもらえるように考えている。昔から参加の人も、新しく参加の人も変わりなく、自分の作品を通じて、多くの人と交流をする場所として活用してもらいたいと願っている。



### 【参考資料 ②】

浄土宗の大本山、百万遍知恩寺（左京区）は、法然上人の住んだ賀茂の河原屋に起源をもち、数珠繰りの発祥地としても有名な寺である。毎月15日は恒例の手作り市が、広い境内を利用して催されている。昔から「門前、市をなす」と言うが、京都は縁日でも有名な土地柄である。なかでも、南の東寺の「弘法さん（毎月21日）」、西の北野の「天神さん（毎月25日）」がよく知られている。では東はどこかといえば、ここ知恩寺の「手作り市」と言って間違いない。

知恩寺手作り市が始まってから、2025年4月15日で38年になるそうだ。まだ歴史が長くはないものの、手作り市としては草分けであり、全国的にも知恩寺が発祥地と言われている。もとは京大に隣接する立地を生かし、付近の古書店が催していた文化の日の古本市が基盤になっている。だから、知恩寺の「手作り市」の発案者は、古書店組合のプロデューサーである。

現在は毎月500店舗を超える出展者が集まり、応募はその倍以上にのぼる。手作りで作られたもの以外を販売してはいけないルールで、一般的な縁日やフリーマーケットで見られるような仕入れた食品や骨董品などを売ることはできない。その分、自家焙煎の珈琲、食材からこだわった飲み物や菓子に食べ物ははじめ、陶芸、木工品、洋服、アクセサリなどがごった返すように集まり、独特の面白みが醸し出されている。

京都市内には物づくりを生業とした人や、芸術系の学生が多いうえ、周辺の山村には歴史的に京都を消費地としてきた生産地がたくさんある。そんな地の利が質のよい手づくり品の集まる土壌をつくっている。市内には手作り市から生まれた人気店がいくつもあって、開業を志す人の登竜門のような存在にもなっている。



### 【参考資料 ③】

毎月第1土曜日

●ゆったりとした時間が流れる「梅小路公園手づくり市」／京都駅

毎月10日

●「平安楽市」で手づくりの魅力に触れて／岡崎

毎月15日

●1987年より人々を魅了し続ける「百万遍さんの手づくり市」  
／百万遍・知恩寺

毎月21日

●歴史の長い「弘法市」で功德を受け取って／九条・東寺

毎月第4日曜日

●小川のほとりに店が並ぶ「上賀茂手づくり市」／上賀茂・上賀茂神社

年4回開催

●「森の手づくり市」で音楽と共にお気に入りを探して／下賀茂・下賀茂神社 糺の森

その他

●お東さん・手づくり門前市／東本願寺

●Tenmangu マルシェ／北野天満宮・右近の馬場

●佛光寺マルシェ／四条・本山佛光寺

●京都市市役所前マルシェ／京都市役所前広場

●北山クラフトガーデン／北山・京都府立陶板名画の庭

●北山マルシェ／京都コンサートホール前&エコ路地

●クラフトマルシェ in 京都府立植物園／北山・京都府立植物園

●ものづくり Gareden マルシェ／北山・京都府立植物園

●平安楽市／東山・岡崎公園

●岡崎マルシェ／岡崎・京都市勧業館みやこめっせ

●梅小路公園手づくり市／梅小路公園

●洛南マルシェ・ものづくり Marche・嵐山昇龍苑手づくり市・・・等

## ◆講師紹介

はしもとみほ（海藻作家）

東京都墨田区両国在住

SeaForestJapan 主宰 <https://www.instagram.com/seaforestjapan>

日本自然保護協会観察指導員

日光紙業株式会社 代表取締役

家業の紙製品製造業を手伝う傍ら、海藻たちの魅力にうたれ、日本の海藻たちで海の森を表現し20年になります。

## ◆活動内容

ぐると海に囲まれた日本。そこには色彩豊かで形が美しい海藻たちが集まる「海の森」が広がっています。日本の海藻たちは世界一種類が豊富です。しかし、学校で詳しく学ぶ機会には恵まれていません。ワークショップを通じ、皆様が「海の森」に心を寄せていただければ幸いです。そして、日本各地の海へ足を運んでいただき、お気に入りの海と出会い、愛しい海を想うことが、海を守っていく力となることを信じ、活動しています。

- 日本の海藻を使い、小さな「海の森」を表現する。
- 生の海藻を紙の上に広げる『海想ひょうほん』
- 乾燥した立体的な海藻を瓶の中に詰める『海想はーぱりうむ』
- 乾燥した平面的な海藻をアクリルフレームにデザインする『海想すてんどぐらす』

## ◆これまでの開催講座

- 宮城県気仙沼市大島 ワークショップ（2015年～）  
東日本大震災以降、積極的に海へ足を向けることから遠退いていた島在住の方々。島で暮らしていく以上、海から背を向けることはできません。身近な海藻を使った作品製作、販売を通じて新たな希望へ繋げています。
- 福岡県宗像市大島 ワークショップ（2020年～）
- SasayaCafe ワークショップ（2017年～）
- 夏の課外授業 in むなかた（2021年）
- 東京夢の島マリーナエンジョイお魚まつり（2020年）
- Sasaya Art Market(2017年～2019年)
- すみだ川ものコト市（2019年・2022年）
- 真夏のデザインフェスタ2019、デザインフェスタ vol.50、vol.51、vol.61
- ハンドメイドジャパンフェス冬（2025年）
- 博物ふえすていばる！11（2025年）
- いきもにあ2025（2025年）
- 東京夢の島マリーナフェスティバル（2017年～2019年）
- 気仙沼大島海藻アート指導者養成講座（2016年）
- 宮古島市役所職員対象 環境学習講座（2008年）
- 台東区環境学習入門講座（2004年～2019年・2022年～）
- 筑波大学附属小学校、日本女子大学附属豊明幼稚園、台東区立東泉小学校、東京 YMCA
- 桜坂市民大学「日本の海藻を知ろう」（2022年～）
- 沖縄大学人文こども文化学科（2022年～）
- 百万遍さんの手づくり市(知恩寺)
- 上賀茂手づくり市(上賀茂神社)、平安楽市(平安神宮岡崎公園)、北山クラフトガーデン(京都府立陶板名画の庭)
- 森の手づくり市(下鴨神社糺の森)、北山マルシェ(京都コンサートホール)、Tenmanguマルシェ(北野天満宮右近の馬場)

